

第10回 とよがわ流域県民セミナー質問シートについて

【北原講師に対する質問】	
質問内容	回答
<p>・水源地域整備計画で行われる事業に地元負担金が相当ある。また完成後の維持・管理費がかかる。基金の多くがこれに使われてしまう心配がある。ダムが完成後、地元民の生活が豊かになるとは思えない。長島ダムではこの問題をどう解決したのか？</p>	<p>長島ダムの地域振興についてご質問いただきました。</p> <p>・長島ダムではダム完成の平成14年に静岡県、下流城市町、ダム所在地の川根本町によって長島ダム流域連携協議会が設立されました。</p>
<p>・長島ダムを建設した後の、ダム周辺地域はどんな状況か。</p>	<p>・この協議会費により実施された、ダム周辺施設の維持管理、環境整備、上下流交流会等事業が実施により、長島ダム周辺の美しい景観が維持され、町の重要な観光資源となっています。</p>
<p>・長島ダムについていろいろ施策をなされたようですが、その結果として、ダムが作られる前よりもこの地方は作られたあとの方が栄えているとお考えでしょうか？</p>	<p>・平成14年度から川根本町への来訪者は増加しており、平成18年度以降は毎年2万人前後の来訪者があります。(観光客の推移は、町観光協会にお問い合わせ下さい。)</p>
<p>・「ダムで栄えた町はない」と言われます。長島ダムで町は栄えたでしょうか？人口は増えた？職場は増えた？福祉は充実した？</p>	<p>・なお、住民人口は川根本町のHPでも確認出来ますが、詳しくは町役場生活健康課にお問い合わせ下さい。</p>
<p>・いろいろな取組を行っていますが、将来的には人口減は避けられないと思います。どういった成果がでたら、取組の効果があつたと判断されますか？</p>	
<p>・長島ダムの建設により過疎化がとまり川根本町は発展していますか。人口、財政、など具体的をお願いします。</p>	
<p>・水源地と下流域は、現在も何らかの交流を図っているか。</p>	
<p>・寸又峡温泉から接相峡温泉に出かけ後者に宿泊したことがあります。ひなびた温泉を期待したのですが、そうではありませんでした。寸又峡と接相峡の昭和60年以降の観光客数地域に住む方々の人口増減状態に関する資料がありましたらご紹介下さい。</p>	
<p>・水特法にもとづく水源地域整備計画は決められたメニューから選択するようになっていく。ここに大きな問題があると思うが？どうか？ 設楽ダムの場合、無駄なものが多い(児童館、保育園、博物館、交流施設、ダム湖周辺の公園、下水道など)が関係住民の生活の安定と福祉の向上を図るという目的とかけはなれている。どう思うか？</p>	<p>水源地域整備計画についてご質問いただきました。</p> <p>・水源地域整備計画は、都道府県知事が、ダム所在市町村を含む関係地方公共団体の長等の意見をきいたうえで作成した案に基づいて決定されます。</p>
<p>・ダムができて、気がついたら何も残らず交通公害のもらい公害のみになってしまいますか？</p>	<p>・設楽ダムの水源地域整備計画についても、水源地域の設楽町が策定した設楽町総合計画と調和し、設楽町が目指す将来像を実現するための事業が定められていると考えています。</p>
<p>・水源地域整備事業には、失われる自然価値を代償するように、土地改良、多自然治水、多自然治水に重点を置くべきでないでしょうか。 (道路水道、●●施設は、ダムをつくらなくても、整備しなければならぬインフラ整理です)</p>	<p>・なお、水源地域整備計画の変更については、水源地域対策特別措置法第4条第5項に、その規程が定められています。計画の決定と同様に、都道府県知事が、ダムの所在市町村を含む関係地方公共団体の長等の意見をきいたうえで作成した案に基づいて、変更の手続きを行うことになっています。</p>
<p>・設楽ダムの建設でも設楽町が建設前よりも繁栄した街になる見通しはありますか？</p>	
<p>・水源地域整備計画に基づく整備事業の内容の変更は可能ですか。その手続きはどのようですか。 質問意図：2040年に人口2800人程度と予測されています。整備事業で作るものが財政赤字を増大させます。代替事業がある場合は変更すべきだと考えていますので質問しました。</p>	
<p>・設楽ダムでは、ダム後の活性化対策とか振興策の事業が全くありません。あるのは上下流交流センターのみです。建設同意確約事項にありません。この場合後から要望しても事業が可能か？不可か？</p>	
<p>・三河湾豊川河口の汚せんについて漁業への対応について ・ダム●●海への放流水減少どれくらいか ・今後の漁業へのえいきょうについてどう調査しているか</p>	<p>設楽ダム建設に伴うダム下流の環境変化についてのご質問いただきました。</p> <p>・設楽ダムの環境影響評価では、ダム建設により環境影響を受ける可能性のある区間を布里地点までとし、水質等の予測・評価を行っています。</p>
<p>・豊川河口の汚せん対策をどうするのか</p>	<p>・水質の影響については、工事の実施中やダムの供用後において、環境保全措置を実施することで、現況との変化の差は小さいことから、魚類や底生動物等の生息環境の変化は小さく、地域を特徴づける生態系は維持されると予測されています。</p>
<p>・ダム下流の漁業・アユつり・アマゴつりへの対策をもっと充分に考える事が必要ではないか？</p>	<p>・したがって、三河湾を含む布里地点(河口より約50kmの地点)下流では、横断工作物、大きな支川流入、取排水などの外部要因の影響が支配的になっていることから、設楽ダムが及ぼす変化は小さいと考えています。</p>
	<p>・また、生態系への影響については、一部区間は水没等により河川域が消失するが、地域の生態系の特徴を典型的に現す生物群集及び生息・生育環境の大部分残存し、生態系は維持されると予測しています。</p>
	<p>・なお、これらとは別に、三河湾の再生については、三河湾を含めた伊勢湾再生のための伊勢湾再生推進会議において伊勢湾再生行動計画を策定し、行政関係者だけではなく、学識者・NPO等の代表、各種専門家にも参加して頂き、連携・協働を図りながら取り組みを行っています。</p>

第10回 とよがわ流域県民セミナー質問シートについて

【北原講師に対する質問】

質問内容	回答
<p>・脆弱地盤に巨大ダムを建設した場合、ダム本体工事費以外に、その周辺地盤補強改良工事等が際限なく続き、莫大な税金投入が必要となり、地域振興策が進められたとしても費用対効果の面からも、問題がある典型的な「ムダな公共事業」に該当するのではないか。こうした、後世に悪名を残す可能性がある事業に大切な国民の税金を投入することについてどの様に考えておられますか。</p>	<p>ダム建設についてのご質問を頂きました。</p> <p>・設楽ダム建設事業費については、ダム検証において最新の地質調査結果等を基に点検を実施しており、現時点で想定されるすべての地すべり等の対策工の費用を見込んで、現計画より約20億円増える結果となっています。（コスト縮減などの期待的要素は含まない。）</p>
<p>・巨大ダム建設により、自然界のバランスが崩れ今でも議論の中で指摘された現象、災害等が発生し被害が生じた場合、誰が責任を負うのですか。その役職名、所管官庁、責任者名は。</p>	<p>・今後とも、ダムの建設にあたっては、ダム及び貯水池周辺斜面の安定性について万全を期し、最終的には、試験湛水を行ったうえで、湛水に伴う貯水池周辺斜面の安定性を確認することとしています。</p>
<p>・設楽ダムで重力式が適当な理由は。</p>	<p>・設楽ダムの型式の検討にあたっては、地質調査を行っており、ダムサイト付近の基礎岩盤の評価としては、平成21年までに78孔のボーリング調査、横坑9坑、弾性波探査12測線を実施した結果、130m級の重力式コンクリートダムの建設が可能であると考えています。</p>
<p>・堆砂はどうなりますか。</p>	<p>・設楽ダムの堆砂計画については、100年間に堆砂する量を洪水調節や利水のための容量に加え、堆砂容量として見込んでいます。この堆砂容量については、ダム検証において堆砂計画を点検しており、現計画の堆砂容量を上回らないことを確認しています。</p>
<p>・ダムによる速地退去者の生活、生業支援はどうするか。</p>	<p>・生活再建については、集団移転以外の個人移転希望者に対しても移転先の斡旋を行い、最善の努力をしております。</p>